

# 資料3

---

## 意見交換資料

## 本日の議題と目指すところ

### 議題1

### 過疎地域の現状と問題点について

過疎地域の現状はどうか  
過疎地域の問題点はなにか

各分野(産業、生活環境、  
集落、新しい動き)毎に現状  
と問題点の洗い出しを行う

### 議題2

### 過疎地域の価値と役割について

過疎地域の持つ価値とはなにか  
過疎地域が果たしている役割はなにか

時代の変化がある中、  
過疎地域が持つ価値  
や役割を見直す

本日頂いたご意見を踏まえ、事務局(地域創生課)で「過疎方針骨子(案)」を策定し、第3回有識者会議でお示しします

## 議題1

# 過疎地域の現状と問題点について

## 現行の県過疎方針における過疎地域の現状と問題点

### 産業全般

基幹産業である農林業の衰退により、労働力の他地域、他産業への流出、農林業の担い手の不足による森林・農地の荒廃が顕在化している  
平成24年における全部過疎地域の一人当たり市町村民所得は、229万円であり、県平均(295万円)の約8割に留まっている

### 農 業

零細経営が多く、農家戸数は減少し続け、経営面積や生産額も低水準に留まっている

### 林 業

長引く木材価格の低迷や林業生産活動の停滞といった依然厳しい状況にある

### 商 業

購買力の低下や後継者難により、商店の経営が厳しい状況にある

### 工 業

小規模事業所が多く、十分な雇用の確保が難しくなっている

### 観光・レクリエーション

観光客数は減少傾向にあるが、近年のゆとりある生活志向の高まりを捉え、豊かな自然環境を生かしたグリーン・ツーリズムをはじめとする体験型観光の定着を図る必要性が高まっている

## 次期県過疎方針において考えられる視点

### 従来型の産業

- 農業や林業などの1次産業の現状や課題はどうか
- 観光業や商工業の現状や課題はどうか
- 伝統産業や地域特性を生かした産業は仕事として成り立っているか
- 循環型地域経済を構築していく上での課題はなにか

### 移住や関係人口に繋がる産業や仕事

- 起業や継業等の状況や取り組みはどうなっているか
- 若者にとって魅力があり、生活を送れる収入を得られる仕事があるか
- 過疎地域で自立・独立出来る産業や仕事はどのようなものがあるか

### 新しい型の産業や仕事

- 兼業や副業を組み合わせる「多業化」により、仕事が成り立つ可能性はあるか
- テレワークやワーケーション等の「移業化」により、仕事が成り立つ可能性はあるか

## 現行の県過疎方針における過疎地域の現状と問題点

### 公共施設の整備

過疎対策事業が積極的かつ効果的に実施された結果として、非過疎地域との格差は改善されつつあるが、その整備水準は総じて低い状況にある

### 市町村道の整備

昭和45年度から平成25年度までの43年間で改良率36.9ポイント増、舗装率53.4ポイント増となり、生活基盤整備に大きな成果をみたが、平成25年度における整備状況は、改良率41.3%（県平均47.8%）、舗装率54.4%（県平均69.1%）と県全体に比べるとその水準は低くなっている

### 医療

病院や診療所の整備水準は低い状況にあり、平成24年における全部過疎地域の医療施設従事医師数は、84人となっており、人口10万人当たりでは、102.7人（県平均214.9人）と、県平均を大幅に下回っている

### 交通

路線バスの不採算路線からの撤退が続き、自動車を利用できる人と利用できない人でモビリティ（人々の移動の容易性・移動し易さ）の格差が生じており、買物や通院といった日常生活において大きな問題となっている

## 次期県過疎方針において考えられる視点

### 生活基盤

- 買い物や地域交通の現状や課題はどうか
- 住環境(公営住宅や空き家等)の現状や課題はどうか
- 上下水道や道路などのインフラ面は整備が進んできたか

### 共生社会

- 医療や福祉の現状や課題はどうか
- 安心して老後を迎える環境が整っているか
- 教育や子育ての現状や課題はどうか

### 住み続けられる環境づくり

- 災害から生活を守る仕組みは整っているか
- 道路清掃や草刈り等の景観維持活動は成り立っているか
- エネルギーや資源などの循環型サイクルに向けての現状や課題はどうか

## 現行の県過疎方針における過疎地域の現状と問題点

### 日常生活圏の拡大

過疎地域における集落の多くは小規模で山間地に位置しており、中心集落を核とした日常生活圏を作り上げてきたが、近年は自動車の普及により日常生活圏が拡大している

### 集落機能の維持

過疎地域における集落は、農林産業をはじめ生産を補完する生産補完機能、日常生活を相互扶助する生活扶助機能、農地や山林をはじめ地域資源を維持保全する資源管理機能といった集落機能を担ってきたが、今後、更なる人口減少と高齢化の進行によって、その機能の維持が困難となる状況が予想される

### 集落の衰退

特に地形的に行き止まりで、背後に集落を持たない最奥の集落では、高齢者世帯が特に多く、今後消滅する可能性も含め、地域社会の基礎である集落の衰退が懸念されている



## 次期県過疎方針において考えられる視点

### 担い手

→自治会等の地域の役割を果たす人材や地域の担い手となる人材が充分にいるか

### 集落機能

→住民同士で支え合う共助の体制が維持できているか

→農地や森林などの地域資源を保全する機能を維持できているか

### 文化

→伝統文化や伝統芸能の現状や課題はどうか

→集落のアイデンティティである文化を次世代に保存・継承していくことは出来るか

### 持続可能な集落

→地域住民が集まり、集落のあり方や今後の話をする機会はあるか

→地域活動を組織化する動きは見られるか

# 新たな動き

参考資料2-群馬県過疎方針(P5)

## 現行の県過疎方針における過疎地域の現状と問題点

### 田園回帰の流れ

今日では人々の価値観の変化やライフスタイルの多様化に伴い、都市とは別の豊かさを求めて、UJIターンにより農山村に定住する例もあり、人の流れが一方的な動きではない傾向が現れてきている

### 過疎地域に関わる多様な人たち

NPO法人や地域住民をはじめ、大学や高校などとの連携による地域課題の解決に向けた動きや、地域文化の継承活動を通じた地域活性化、都市住民との交流を通じた農産物や農産物加工品の販売といった明るい兆しも見受けられるようになっている



<地方への移住に対する関心の高まり>



<住民とNPOが連携して地域を活性化>

## 次期県過疎方針において考えられる視点

### 移住

- 移住者は過疎地域に何を求めて移住してくるのか
- 過疎地域に移住者を呼び込んでいくために課題となっていることはあるか
- 過疎地域への移住者は地域の担い手になっているか

### 関係人口

- 過疎地域に関わる関係人口はどのような関わり方をしているか
- 関係人口を増やしていくために課題となっていることはあるか

### 革新的情報技術

- ICTや5G等の情報通信技術の革新が過疎地域に与える影響はあるか
- 情報通信技術の革新を過疎地域に生かしていく上で、どのような課題があるか

### 新型コロナウイルス

- 新型コロナウイルスが過疎地域に与える影響はあるか

## 議題2

# 過疎地域の価値と役割について

## 自民党過疎対策特別委員会の見解

### 過疎地域の価値と役割

参考資料5-自民党過疎対策特別委員会  
今後の過疎対策の方向性(P1)

過疎地域は、全国の9%の人口で広大な国土の6割を支えており、多様性があり、美しく風格ある国土の形成に寄与するとともに、多面的機能を発揮している。

具体的には、食料・水・エネルギーの生産・供給、自然災害の防止、多様な生態系を持つ自然環境の保全に大きな役割を果たすとともに、固有の地域文化や美しい景観、やすらぎのあるライフスタイルなど我が国の豊かさと多様性を支えている。また、我が国が取り組んでいるSDGs(持続可能な開発目標)の実現のモデルとなる可能性も十分有している。

持続可能な社会の形成、人口減少社会への対応、国土の強靱化、食料自給率の向上と行った国家的課題を解決するために過疎地域が果たす役割はますます大きくなってきている。

# 現行の県過疎地域自立促進方針における価値と役割

## 過疎地域の価値と役割

参考資料2-群馬県過疎方針(P7)

### 資源の供給

戦後は、荒廃した都市へ木材や薪炭、農産物を供給することによって、都市の復興に寄与  
高度経済成長期以降も、過疎地域は電力、水資源、木材を都市へ供給してきた  
更に、木質バイオマスや水力といった自然エネルギーや、農産物をはじめとする食料と水資源  
を供給している

### 国土の保全

人々が生活を営むことにより農地や森林といった地域資源が適切に維持管理されることで、日  
本の国土の安定的な保全に寄与してきた

### 文化の醸成

長い歴史のなかで育まれてきた独自の地域文化が息づき、その保存と継承が主体的になされ  
ている地域であり、とりわけ日本文化の象徴でもある木の文化を今に伝えている

### しあわせを実感できる場

現代社会で失われつつある「人と人とのつながり」や「生きる喜び」といった人間にとって極めて  
素朴な「しあわせ」を実感することができる場である

## 次期県過疎方針において考えられる視点

### 過疎地域の価値

東京圏から程近い群馬県の過疎地域特有の価値があるのではないか

新型コロナウイルスにより、顕在化した群馬県の過疎地域の価値があるのではないか

国民や県民の幸福度の向上に繋がる過疎地域の価値があるのではないか

### 過疎地域の役割

日本全体がSDGsに取り組む上で、過疎地域が果たす役割があるのではないか

日本全体で人口減少社会が到来するなか、過疎地域が果たす役割があるのではないか

群馬県の過疎地域が果たしている関東圏での役割、県内での役割があるのではないか